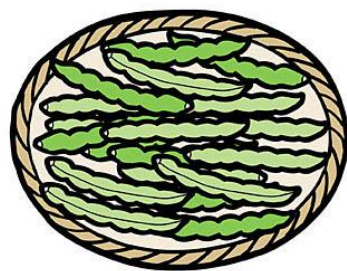


JA 営農情報

№346 令和6年 7月号

いんげん栽培

いんげんは年間に3回栽培する期間があることから『三度豆』とも呼ばれます。つるあり品種とつるなし品種がありますが、今の時期は比較的高温に強いつるあり品種の栽培がおすすめです。

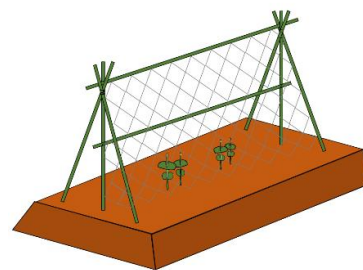


○栽培管理

マメ科野菜は連作障害が出やすいため、最低でも4年間はマメ科を栽培していない場所を選んでください。

直まきは鳥害を受けやすいので基本的にはポットで育苗して移植しましょう。3号のポリポットに3粒まき、本葉展開時に生育の良い苗を1～2本残して間引きします。発芽には温度が必要なので日当たりの良い場所で管理してください。

いんげんは上に伸びる力が強いので、支柱を立てたり図のようにネットを使ったりして誘引しましょう。つるあり品種は放置していると2m以上伸びるためある程度の長さで摘心します。



肥料は元肥・追肥ともに化成肥料8-8-8が適していますが、肥料の効かせ過ぎはつるだけが成長して実つきが悪くなってしまうため注意してください。また、いんげんは他のマメ科植物と比べて根粒菌のはたらきが強くないので、元肥をしっかり入れて以降は生育に応じて追肥をしましょう。

開花期や着実時の水不足は落花や実の曲がり充実不良の原因になるため、こまめな灌水を心がけてください。（マルチや敷きわらをしておくと乾燥防止や雑草抑制になります）

○主な害虫

いんげんは主にハダニやアブラムシが発生しやすいです。どちらも生長点や葉裏に集団で寄生して吸汁し、多発すると葉色が薄くなって枯れてしまうことがあります。ハダニは梅雨明け頃から多発する傾向にあり、アブラムシはウイルス病を媒介する恐れがあるため、早期発見・早期防除に努めてください。

令和6年産米の買取契約

令和6年産玄米の出荷を予定されている方は、『令和6年産米穀(うるち玄米)の買取契約書』の提出が必要になります。例年通り実行組合を通じて各地区にご案内しますが、買取数量を事前に把握しておく必要があるため、申込期日の遵守にご協力をお願いします。



また、買取契約書の裏面にも水稻作付圃場や栽培品種等ご記入いただく箇所がございますので、記入漏れがないようご注意ください。

『令和6年産米穀(うるち玄米)の買取契約書』提出締切は7月26日(金)です。

☆JA茨木市乾燥粳摺り施設ご案内☆

今年度もJA茨木市の組合員を対象に乾燥粳摺り施設を稼働いたします。
つきましては下記の通り予約申込を受付しますので、ご確認をお願いします。

◆受付開始日時 … 令和6年7月1日(月) 午前9:00～

◆申込方法 … 7月1日のみ 下記の予約受付専用電話で受付
『080-9592-6492』 『080-9592-6493』

7月2日以降 営農経済センター店頭窓口またはお電話にて受付

詳しくは『令和6年度 JA茨木市乾燥粳摺り施設利用案内』をご覧ください。

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔 月 第 2 木 曜 日	税 務 相 談 隔 月 第 4 金 曜 日	住 宅 ロ ー ン ・ 資 産 相 談 毎 月 第 3 土 曜 日	介 護 相 談 随 時 受 付
7 月	1 1 日	—	2 0 日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽に お問い合わせ下 さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
8 月	—	2 3 日	1 7 日	
9 月	1 2 日	—	2 1 日	
【実施場所】 農協会館（ＪＡ茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後１時～午後４時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） <u>ふれあい・福祉課 TEL：627-7768</u>			【実施場所】 ＪＡ茨木市 各支店	



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL: 641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL: 641-9050